

# 鶴ヶ谷地域の課題とその背景

宮城県仙台第三高等学校 28班

## 1. 鶴ヶ谷の課題

鶴ヶ谷にはabAinという商店街があるが今はシャッターが多くなってしまっており人の往来も多いとは言えない。そこで鶴ヶ谷の成り立ちを調べなぜこのような現状になったのかそして現在行っている鶴ヶ谷の再生活動と他の市町村について比較し相違点から鶴ヶ谷特有の問題があるのかどうかを考える。

## 2. 調査内容と方法

- ・「仙台市史」、「鶴ヶ谷」を読み解き鶴ヶ谷の歴史を通して鶴ヶ谷の今に至るまでを理解する。
- ・鶴ヶ谷が現在取り組んでいる地域再生の活動を調べまとめる。
- ・鶴ヶ谷地域と他地域の活動とまちづくりを比較して検証する

仙台市史…仙台市が古代から平成元年に仙台が政令指定都市となるまでの出来事を編纂した書籍。1)

「鶴ヶ谷」…まるっと鶴ヶ谷というフェイスブックを通して活動をしているまちづくり団体が鶴ヶ谷を歴史や地理的側から特徴をまとめた冊子。2)

↑仙台市史

「鶴ヶ谷」→

## 3. 調査結果(背景)

- ・鶴ヶ谷団地は戦後の人口増加による居住地不足を改善するため仙台市の行った公共事業によって建てられた街
- ・アバインは鶴ヶ谷地域での商業区として鶴ヶ谷団地と一緒に建てられた
- ・鶴ヶ谷団地はその当時、多く問題となっていた公害に対する「工業と健康都市」という目標を掲げた東北最大のモデルニュータウンとして建築された
- ・建築方式はワンセンターシステム

ワンセンターシステム… 地域の真ん中に人の交流地となるような施設を作りそれを囲うようにして居住区が建つ街のしくみ

しかし交通の発展や郊外の大型複合施設の誕生によって鶴ヶ谷のセンターである市民センターとabAinの利用が減ってしまうことになる。

例)利府イオン、COOP共済

## 4. 調査結果(活動)

「NEXT50鶴ヶ谷」… つるがや元気会の主催する事業。次の50年の鶴ヶ谷を見据えたまちづくりを行う。

「永続的に団地全体の環境維持保全を住民自らが実施できる組織・体制として立ち上げ、団地のブランド価値向上やそれに伴う空き家の減少などを通じて、活気溢れる鶴ヶ谷団地を新たな形で創り出す」3)

### 具体策

- 1、ウォーキングマップスタンプラリーの作成(三高生)
- 2、活用できる空き家のヒアリング(つるがや元気会)

## 5. ワンセンターシステムとしての比較

洛西ニュータウンの場合  
バスターミナルがセンターに併設  
地域住民の買い物が容易  
近くに交流のための公園

### 鶴ヶ谷地域の場合

絶対的に中心となる施設がない  
公共交通機関がセンターに向いていない

↑鶴ヶ谷地域のバス路線  
←洛西ニュータウンの  
バス路線

### NEXT50鶴ヶ谷

空き家の利用について  
現在の鶴ヶ谷にある住宅について調査を行い  
通常期→予備期→空き家の段階に分けマップを作る

### SAIKOプロジェクト

空いている住宅を調査してURとの提携により空き家を安く売り  
たり、空き家のリノベーションを行い子育て粗大を集めための活動を中心に行っている

## 6. まとめ

- ・鶴ヶ谷地域はワンセンターシステムを用いた街
- ・空き家の利用が再興の鍵
- ・バスターミナルが人の集約に起因している

## 参考文献

- 1) 仙台市史2 仙台市史編さん委員会 5) 洛西ニュータウン まちづくりビジョン
- 2) まるっと鶴ヶ谷 facebook 6) 仙台市統計データ
- 3) 仙台市基礎データ
- 4) 京都市西京区役所ホームページ
- 5) JSTATマップ